



## 3D図面を自在に使えるBIM専用トータルステーションRTSシリーズが鉄骨建方の効率化を支援、未来につながる建築測量のワークフローを実現

株式会社サンエイ興業様



### 建築測量業界全体を盛り上げる存在であり続けたい

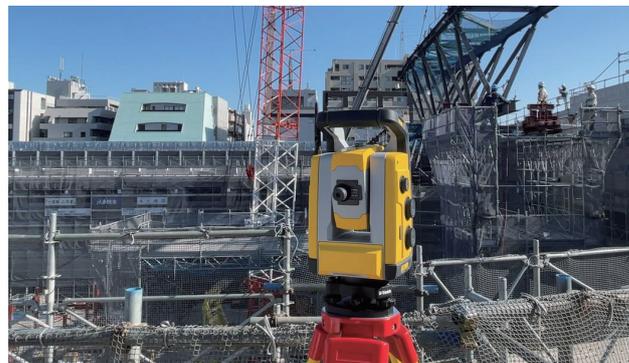
当社株式会社サンエイ興業は2006年に発足し、建築測量の基盤となる墨出しの業務を請け負ってきました。発足から現在に至るまで一貫して考えていることは、測量の楽しさや奥深さをいかに仕事に反映し、後世に残すかということです。従来の手法を継承するだけでなく、新しい技術、新しい方法を導入していくことで建築測量業務に携わるスタッフのモチベーションを上げ、結果的に業務の効率化が見込めると考えています。作業しやすく格好いいユニフォームを揃えることや、新しい機械を導入するなど常に“新しさ”を取り入れ続けることにより、若年層の建築測量業界への流入を目指しており、この雇用拡大が結果として業界全体の盛り上がりにもつながるはずだと考えています。



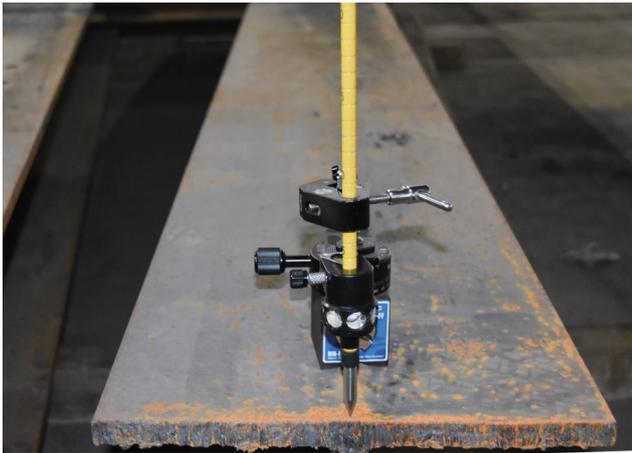
株式会社サンエイ興業  
代表取締役社長 三谷 英暁 氏

### 目まぐるしく変わる状況化で如何に安定的に仕事を遂行するかが課題、新技術は新しい方法を確立する弾みをつけてくれます

以前より建築測量業界では“省人化”が課題でした。慢性的な人材不足に加え、昨今のパンデミックで人材確保のニーズがより強まったと感じています。このような状況化で作業効率を上げる為にはやはり効率化を実現する新技術を採用することが必要不可欠です。新技術を組み込んだ製品はそれ単品でも勿論魅力的ですが、人が少ない中で効率的なワークフローを確立する為の良いキッカケとなっています。



建方の効率化を支援するTrimble RTSシリーズ



マグネット付きのプリズム台を自作し現場活用に活かしている

## 新技術の採用が前提の現場で、3D図面を扱える高精度トータルステーションRTSシリーズが施工BIMを実現！

私たちは今回、地元で長年愛される施設の建替え工事でTrimbleのRTSシリーズを現場に持ち込みました。この現場は周りからの注目度が高い工事で、是非新しい技術を活用できないか、と打診頂いた際に丁度BIMの活用が可能なRTSシリーズを紹介され、即座に導入を決めました。この工

事では通常の墨出しに加え、鉄骨の追尾治具を工夫しながら建て方に使ったり、躯体の計測作業で使用しています。器械を一度据えてしまえば、図面をタブレットに取り込み、スマートフォン操作のようにタブレットを確認するだけで自分の出したいポイントが簡単に選択できます。若いスタッフにとっては使い勝手が良い製品であると実感していますし、見た目が格好いいという所も選んだポイントです。実際に現場で「その製品は何だ」、という声を多くいただいております、「新しい製品を活用しているサンエイ興業」というイメージが付きましますし、スタッフ自身もモチベーションを高く保って仕事をする事ができていると思います。



## これからはAI技術と現場の感覚を上手く組み合わせせていく時代、その建物を作るために必要な建築測量の最適な方法を残したい

建築業の担い手不足は永続する課題として対応しなければなりません。我々はRTSシリーズのように一部作業を自動的にしてくれるものや、今後AI技術などを搭載して作業を完全に自動化してくれるイノベーションと協同して作業を行う必要があるでしょう。ですが、どうしても機械だけでは補えない人間の持つ“現場の感覚”が重要になってきます。私たちは未来に生きる人間のための建物を作っているため、人間の肌感も含め最適な方法に挑戦して、その方法を未来に残すことができれば最高ですね。



屋外・屋内を問わず高精度な計測が可能なTrimble RTS771



### 取材先

株式会社サンエイ興業

### 取材協力

株式会社金剛測量製図器械店



ビルディング製品  
HPIはこちら



ビルディング製品  
Facebookはこちら



ビルディング製品  
YouTubeはこちら

RTSシリーズ最高峰の1秒機  
**Trimble RTS771**

株式会社 **ニコン・トリムブル**

<http://www.nikon-trimble.co.jp/>

ビルディングソリューション推進部

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート大樹生命ビル  
tel.(03)3737-9411

\*Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。  
\*その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。